

血液透析患者における麦ご飯摂取の脂質代謝改善の可能性

長崎腎病院

○北村舞 小江桃子 山下万紀子 原田孝司 船越哲

【背景】

水溶性食物繊維が豊富な麦は、腸内環境改善に有用な食材であるが、白米に比べKを含有することから、血液透析患者への積極的な摂取は推奨されにくく、また血液透析患者への麦ごはん摂取に関する報告もない。

【目的】

血液透析患者に麦ご飯を提供し、その血清パラメータの変化を検討する。

【対象】

入院患者8名（男4名、女4名、平均年齢73.8±8.7歳、平均透析歴3.7±3.9年）

【方法】

白米と麦の割合を8対2とした麦ご飯（約1.0gの水溶性食物繊維含有）を昼食に提供し、変更前後の血清パラメータや排便回数などを調査した。

【結果】

HDL-Cは有意に上昇しLDL-C、CRPに関しては有意な低下が認められた（ $P<0.05$ ）。K値に変化は認められなかった。また、排便回数の有意差は認められなかったが増加傾向であった。

【考察】

今回、透析患者の麦ごはん摂取の検討においては、麦の量や摂取回数に配慮すればK値に問題はなく、むしろ少量で炎症や脂質異常、便秘改善などいくつかの効果が期待できる可能性が示唆された。